

大竹市晴海に開館した下瀬美術館



エントランス棟  
柱から集成材の梁が伸びた  
近未来的な空間

今年3月に開館した下瀬美術館。これまでも、この美術館ができるまでをこの通信でも紹介してきましたので、開館後2度ほど行って参りました。

気になっていた池の中にあるカラフルな箱のような8つの建造物はそれぞれが展示室となっていて、展示内容によって池の水位を上げることで浮力によって移動できるそうです。海側から見えていた大きなガラス面は建物の側面ではなく、エントランス棟などの建物をつなぐ渡り廊下の壁面となっていて、海側からこの建物を見たときに風景を写り込むことで、建物の存在を消すためだそうです。一流の建築家の考えることは分かりません(笑)。

この他にも宿泊施設などの建築物もありますが、泊まってみないと分かりませんので、どなたか泊まられたら感想を教えてください。いずれにしても、大竹に凄いものができたことは違いありません。是非、一度お勧めします。(啓)



望洋テラス  
屋上からカラフルな  
展示棟越しの宮島

助け隊完了!

今年も一定規模以上の仕事をさせていただいたお客様に排水柵の掃除を行う"助け隊"をご案内したところ、昨年より20件多い80件余りのお申し込みをいただき、農閑期に仕事を手伝ってくれる太田君を中心に作業を行い、無事お盆休みまでに終わらせることができました。

柵の中に木の根が入り込んでいるケースもありましたが、コンクリート柵の劣化で排水パイプを固定しているモルタルが外れ、周りの土が柵に入り込んでいたり、地中に排水が浸透したりしていたお宅も多かったようです。放置しておくとう詰まりの原因になりますので、後日有償で排水柵の取替や、補修をさせていただきました。

人間に例えると、水道は動脈で排水は静脈のようなもので、使えないと生活に支障をきたす大事な設備です。年に一度程度は排水柵のフタを開けて確認されることをお勧めします。

暑い中太田君協力有難う!



作業中の太田君



劣化した排水柵

<お好み焼きそばトリプル>



何年振りかに見ました、お好み焼きそばトリプル(3玉)。前回見たのは、廿日市店で現場担当をしている中谷君が入社した頃の頃ですので、早いものでもう6年も前の事になります。勿論このお好み焼きを頼んだのは、今年入社した日野君。上に書いた助け隊が終わった日に本社近くのお好み焼き屋"こいさん"に行き、打ち上げをした次第です。

このお好み焼きを食べるまでに、鶏のから揚げなどのつまみを食べた後でしたので、「あれだけ食べて、ホンマに食べれるんか?」と注文の時に言いましたが、出来てくると、あれよあれよと言う間にペロリと平らげてくれました。思い出せば若かりし頃、いくらでも食べれた時期があったように思いますが、目の前でペロリと平らげる姿は宇宙人とは思えません。

皆さん"お好み焼きトリプル"食べれます?(啓)

「住いの困った」は ゲイナンハウス 大竹店・廿日市店共に  
フリーダイヤル0120-505-375 URL:<http://www.geinan-house.co.jp/>  
最後までお読みいただき有難うございました、次回は12月頃の予定です。(啓)  
\*尚、この「住まいる通信」がご不要の方はご一報願います。送付を停止いたします。



河野



百舌鳥古墳群の中で一際大きい  
仁徳天皇陵がよく見えました。  
それにしても、こんなに古墳がある  
ことにビックリです!



みなさんこんにちは!今年の夏も例年以上に暑かったですね〜、無事に暑い夏を乗り切られたでしょうか?まさに地球温暖化を身をもって体験した夏でした。過去の気温を調べてみると、私が10歳だった1966年の夏では一番暑い日で最高気温33.8℃と一日も35℃以上の猛暑日はありませんでしたし、最低気温も25℃を超える熱帯夜もほとんどなく、これならエアコンなしでも十分夜休むことができたことが分かります。今の子供たちに熱帯夜が無い夜があったと話しても、もはや昔話にしか聞こえないのかもしれないね。

さて、上の写真は7月に出張で岩国空港から羽田空港に向かう機内から撮った写真です。年に3,4回上京するのに利用しているのですが、天気が良かったこともありすが、少しばかりいつもとコースが違ったのか、大阪の古墳群を「うわー、こんなにあるんだー!」とたくさんの古墳をはっきりと見ることができました。学校で習った仁徳天皇陵(全長840m)と写真の中で古墳と認識できるものには調べてその古墳の名前を記載しましたが、実はこの写真の中だけでも20もの古墳があるそうです。この古墳群以外にも面白いものが見れましたので、次のページでご紹介してしますのでご笑覧ください。

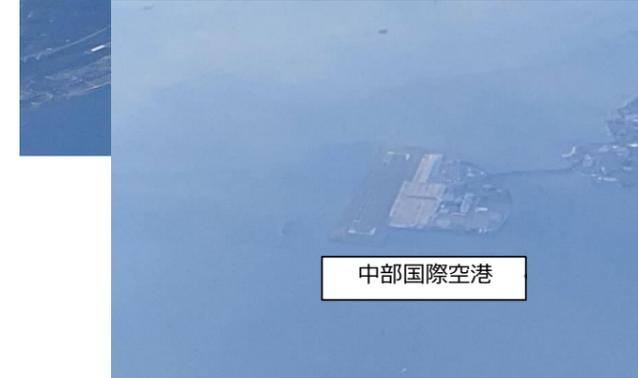
皆さんから施工後にご返信いただいているアンケートハガキ、このハガキのコメント欄に本当にたくさんのお客様から多くの応援のお言葉をいただいております、この紙面から恐縮ですが心より感謝申し上げます。このアンケートはがきを集計したところ、昨年度に比べて"作業者の挨拶・態度"や"工事中の養生及び清掃片付け"の項で"大変良い"がそれぞれ増えて喜んでる反面、"完了時の確認や、取り扱い説明"の項では、前述の項に比較して"大変良い"の評価が少なく、また伸びていないことが分かりました。なかなかお客様の声をクレーム以外ではお聞きすることはできませんが、一枚一枚のハガキのコメント欄を通じて弊社の仕事に対する感想も伝わってきますし、何よりも改善すべきポイントも教えていただき、改めて感謝申し上げる次第です。このハガキに込めていただいた思いに応えるべく、社員・協力業者の皆さんと共にしっかりと取り組んできたいと社内だけでなく協力業者会でも話をした次第です。(啓)



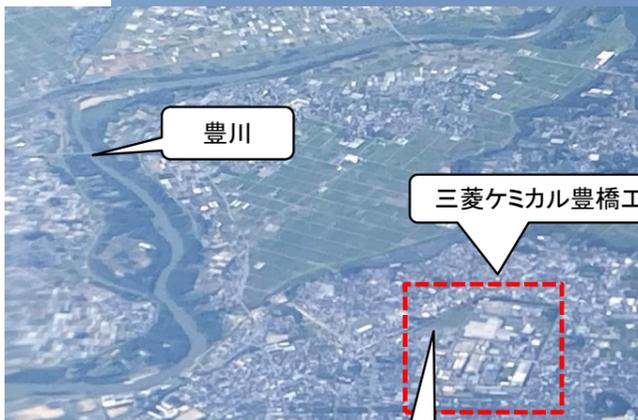
## 空の上から日本を見てみよう！(笑)



明石大橋



中部国際空港



豊川

三菱ケミカル豊橋工場

青陵中学校

社宅だった所



小さいですがスカイツリー

東京タワー

夏の富士山

表紙に飛行機から撮った仁徳天皇陵の写真を掲載しましたが、7月の羽田に向かう機内からは思い出深いものなど、色々見ることができましたのでご紹介させていただきます。

まず、左の写真が明石大橋です。実は瀬戸大橋も見えていたのですが撮り損ねてしまい、やれやれと思っていたところ明石大橋が現れたのでパシャリ！そして大阪が現れたと思ったら、表紙の古墳群が見えてきたので慌てて撮った次第。これまで何回となく岩国から飛んできますが、こんなにハッキリと見えたのは初めてなので紹介させていただきました。

さらにしばらく飛ぶと、少し霞んで見えますが、中部国際空港セントレアが海にぽっかりと浮いたように見えます。さらに少し飛ぶと、私が子供の頃住んでいた愛知県豊橋市にある現三菱ケミカル豊橋工場がはっきりと見えてきました。目を凝らすと、住んでいた社宅は駐車場のようになっており高度1万メートルからでも確認できました。通っていた牛川小学校は分かりませんが、2年生の7月まで通った青陵中学校は確認でき、当時は“遠いなあ〜”と思いつつ通学しておりましたが、空から見れば目と鼻の先。子供の頃工場の周りに住宅は少なかったのですが、見てみれば、工場が住宅に囲まれているのにビックリです！

と思い出にふけていると、いつの間にか夏の富士山が現れ飛行機は高度を下げ始め、東京に近づくと、これまた普段は飛ばないビル群の上を飛んで羽田空港に着陸！

改めて私は乗り物好きであることを再認識です。(笑)

## 最近の施工事例から

### 宮大工の腕による お内仏のリフォーム



施工前

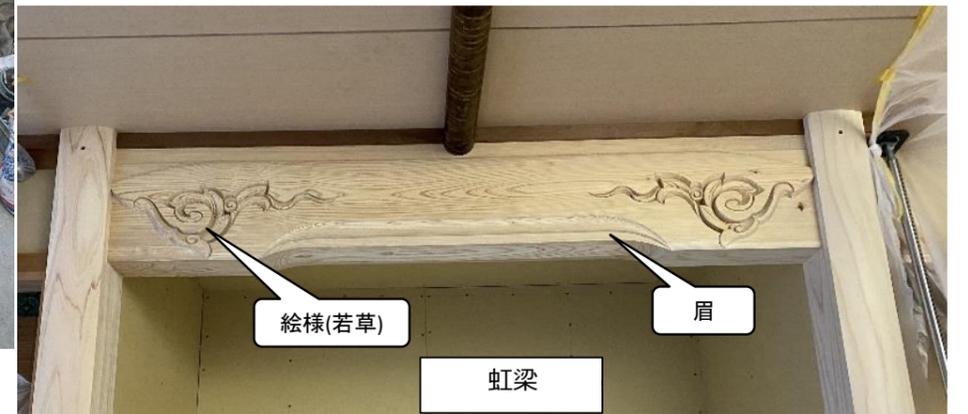
今回の施工事例は、私の姉が嫁いだお寺のお内仏をリフォームした事例です。如来様を仏師の手で修復されることに併せて仏間もリニューアルした次第。どのようにリニューアルをしたら良いか、お内仏のある山口別院など視察をさせていただきましたが、大竹店の大工仕事をしてもらっている平野大工はかつて寺社仏閣の仕事を行う工務店に長く務めた宮大工ですので、平野さんの意見を取り入れることにしました。

まず上部には虹梁(コウリョウ)を設け、左右の柱を太くすることでお内仏をどっしりとした間にする。虹梁は幅が2m程度なのであまり大きすぎず、でも眉や絵様の彫刻ができるサイズという事で、高さ30cmの桧に平野大工自らが彫を入れて虹梁を作成しました。

左右の柱は2枚の桧の板(前面は丸面)をL型に木工屋さんで作成してもらい、既存の柱に抱かせることで柱を大きく見せるようにしています。下部の框(カマチ)も桧で高さ18cmと大きめにすることで、虹梁とのバランスをとっています。



作業場で彫を入れる  
平野大工



絵様(若草)

眉

虹梁



完成

上の写真が作成した虹梁です。まず、どの模様にするか平野大工が持っていた下絵を見て選び、作業場で2週間ほどかけて作成したものです。左上写真に写っているように、何と30本以上もの種類の違う彫刻刀で作成していて、細かい作業に感心しつつ様子を見学しました。

内装は如来様が映えるように、中心は金箔様の壁紙を貼り、周りは落ち着いたながらも格式を感じる濃紺の壁紙とし、仏間が真壁に見えるように左右奥の隅には付け柱を付けています。また、照明は如来様が映えるよう上部から2灯のスポットライトで照らしています。

左の写真が完成したお内仏です。このお内仏の前に立つと、金箔で眩いばかりの如来様が、虹梁と桧の柱に囲まれたお内仏に居られるお姿に、自然と手が合わさりました。

平素の住宅の仕事では経験できない勉強をさせていただきました。平野大工、いい仕事をありがとうございました。(啓)